

1 日目

10 月 5 日  
(土)

## 基礎コース (180 名定員)



9:20 ~ 10:40 (80 分)	<b>【自閉症を取り巻く現状の理解と課題】</b> 自閉症・自閉スペクトラム症・発達障害・知的障害のない ASD・行動障害への基本的な支援の在り方等々、どのように理解すればよいのでしょうか。自閉症を取り巻く現状から、その理解と課題を考えます。 独立行政法人 国立重度知的障害者総合施設のぞみの園 総務企画局 研究部 部長 日詰 正文
10:50 ~ 12:10 (80 分)	<b>【応用行動分析 (ABA) とその応用】</b> ある行動 (B) が起きる時に、その行動を引き起こす要因 (A) があり、その行動が起こることにより引き起こされる周りの行動 (C) があります。応用行動分析では、ABC 分析を行うことにより、行動を客観的に理解することの重要性を学びます。 特定非営利活動法人 さるく 代表 長瀬 慎一
13:10 ~ 14:30 (80 分)	<b>【TEACCH に学ぶ自閉症への教育・福祉】</b> TEACCH プログラムは、自閉症の方やそのご家族・支援者を対象にした包括的なプログラムであり、今回、その基本的な考え方の1つである「構造化」の視点から自閉症の教育・支援を考えます。 たすく株式会社 渡邊 倫
14:40 ~ 16:00 (80 分)	<b>【TAO (太田ステージを基軸においた TEACCH と ABA の応用)】</b> 教育・福祉の分野では多様なニーズに応じていくことが求められ、今までより高い専門性が必要とされています。欠かすことのできないことが、発達障害の科学を理解し現場で生かすことです。その実際を学びます。 自閉症セミナー コーディネーター 佐々木 敏宏

※受付は 8:30 ~ 9:15、昼食は 12:10 ~ 13:10

2 日目

10 月 6 日  
(日)

## アドバンスコース (80 名定員)



※2 日目参加者には事前にインシデントを1事例提出していただき、当日各クラスで その内容を簡単に発表していただきます。その中から2例を検討課題として選びます。

9:00 ~ 11:30 12:20 ~ 14:50	<b>セッション I (2 時間 30 分)</b> <b>セッション II (2 時間 30 分)</b> ※1セッションごとに講師が入れ替わります。 (講師はお選びいただけません)	講師とともに (各20名/4クラス)、事例を行動障害に絞り、各講師の方法論のもと、インシデントプロセス法を用いながら様々なアプローチによる検討を行います。 ※インシデントプロセス法 参加メンバーが相互にインシデント (出来事) を提示し、その背景の事実を質問形式で引き出しながら課題解決を考えていく研修技法。
15:05 ~ 15:45	<b>全体会・質問 (40 分)</b>	講師は一日目と同様 4 人の講師です

※受付は 8:45 ~ 9:00、昼食は 11:30 ~ 12:20

※講師及び演題、講義の時間については変更することもあります。